和気町議会だより

和気議会NAVI

和気町議会
第82号
令和8年
9月定例会

② 特集 中高生模擬議会
⑥ 9月定例会より　⑦ 質疑と答弁　⑪ 委員会報告　⑫ 一般質問



裏表紙で写真を詳しくご紹介
ぜひご覧ください!

特集

和気町の未来を真剣質問！

＼中高生模擬議会／



　中高生の主権者教育を進めるため「中学生・高校生模擬議会」が8月28日（金）に本庁舎議場で開催されました。

　一般質問は、1人20分以内、同一項目につき質問回数2回以内を原則に、一問一答方式で行われました。





和気町内農作物の販路拡大と高付加価値化について

質問 農作物の販路開拓を「町アタック」にすることは。

学校給食でお米だけでも年間を通して地産地消率を100%にできないか。

答弁 今田 副町長

有機農業産地づくり推進委員会の独自認証制度である、和気ブランドを設けることで生産者の所得向上を目指す。

学校給食は和気町産の朝日米を使用しており、100%地産地消を実現している。

その中で、年間3か月のみ特別栽培米を提供している。有機JAS認証取得に係る認証費補助などで新規の有機農業者の確保に取り組みたい。

質問 食品の安全性を伝え、付加価値を高めるために、科学調査への行政補助はできないか。

答弁 今田 副町長

有機農産物の安全性の検査に関する支援制度の拡充は検討していく。

安心安全なまちづくりと交通の利便性向上について



質問 安全に通行できるように、町と警察の合同会議で要望できないか。

答弁 太田 町長

通学路の安全確保は、通学路安全推進会議で検討すべき重要な課題である。

教育委員会と学校で現地確認を行い、和気町通学路安全推進会議で要望していきたい。

質問 佐伯地域はバスの本数が少なく、困っている人もいる。利便性向上に向けて、さらなる工夫はできないか。

答弁 太田 町長

限られた車両や乗務員でスクールバスと路線バスを兼ねている運行体制なので、厳しい面がある。今後も公共交通の在り方について検討していく。



若者目線による町の魅力発信について

質問 中高生を和気町ＳＮＳ大使に任命し、若者目線で町の魅力を発信する取り組みをしてはどうか。

答弁 太田 町長

公式ＳＮＳなどによる情報発信の充実に取り組み、若い世代のアイデアを今後の町の情報発信に生かしていく。

質問 旧和気小学校など廃校になった校舎等を使って、カフェのように集まれる交流空間を作ってはどうか。

答弁 徳永 教育長

若い人が地域の中で人と出会えたり、新しいことに挑戦したりすることができるユースセンターの設置を現在計画している。

地域防災計画について

質問

1、地域防災計画は更新の予定はあるか。
2、地区防災計画整備地区数を目標値に近づけるために行っていることは何か。
3、医療情報システムは、どの程度活用され、その訓練は実施されているか。

答弁 今田 副町長

1、今年度更新を予定している。
2、①自主防災組織への活動の支援
②住民の防災意識高揚のための啓発
③避難所の資機材の整備及び防災拠点施設敷地の整備
といった3点の施策を展開している。
3、実際の災害時における使用実績は無し。定期的に入力訓練が実施されている。



地域クラブ活性化と駅周辺の活性化は



和気中3年
藤原 知亮（ふじわら ともあき）
議員

質問 地域クラブ活性化のため、保護者の費用負担や送迎の支援、指導者の確保など町としてどのような支援、対策を行っているのか。

答弁 徳永 教育長

保護者の費用負担増への支援については現在、ソフトテニス、陸上競技、吹奏楽は休日の部活動を和気クラブでの活動に、剣道はスポーツ少年団活動としており活動費及びスポーツ安全保険掛金を無料としている。練習場所への移動についてはタクシー料金を無料に、和気クラブの練習時間を平日学校終了に合わせ活動できないか現在研究中である。指導者の確保については近隣の大学と連携し指導者の紹介や学生による指導を行っている。

質問 駅周辺の活性化にファストフード店の誘致をしてはどうか。

答弁 太田 町長

ファストフード店誘致に向け出店支援補助金制度の改正を含め誘致活動の強化に努める。

特殊詐欺や闇バイト被害に関する取り組みは



和気閑谷高2年
守本 日向（もりもと ひゅうが）
議員

質問 和気町では特殊詐欺を防ぐためどのような対策や普及活動をしているのか。

答弁 太田 町長

警察や住民から特殊詐欺等に関する情報提供があった際は、告知放送しらせあいを活用し、被害の発生状況や具体的な手口を迅速に周知し注意喚起を行っている。

また、地域や、消費生活問題研究協議会と緊密に連携し、啓発活動に取り組んでいる。

空き家対策と高齢者・障がい者への支援について



佐伯中3年
時本 衣羽（ときもと このは）
議員

質問 少子・高齢化や人口流出で、町内には空家が増加している。倒れそうな危険な空き家の対策は。

答弁 今田 副町長

国の法律である「空家法」によって、所有者に対処をお願いしている。

なお、町には危険な空き家を判定する対策協議会があり、一定の危険性が基準以上になれば特定空家に認定する。

質問 高齢化が進んでいる中で、ゴミステーションまで持っていくのも困難な人などの支援は。

ヘルプマークを、もっとみんなに広く理解してもらえる取り組みは。

答弁 太田 町長

介護保険サービスのホームヘルパーや地域の見守りの協力で生活支援を実施している。

ヘルプマークは、必要に応じ窓口等で案内配布を行っている。今後の対策として広報誌などを活用し、ヘルプマークの目的など正しい理解が広まるよう啓発に努める。

児童生徒が快適に学べる学校環境づくりを



和気中3年
松本 弥南（まつもと みなみ）
議員

質問 教室のカーテンを太陽の光や熱をしっかり遮るカーテンに替えてほしい。

除湿加湿、空気清浄ができる機器の計画的な導入をしてほしい。

答弁 徳永 教育長

現在、本荘小学校では校舎の工事に合わせて遮光カーテンを設置することにしている。

また、空気清浄機等の導入についても教室環境の向上や感染症予防に効果的だ。

しかし、加湿空気清浄機は設置スペース等に課題がある学校もある。

教育委員会として環境整備の在り方について、しっかり研究したい。

模擬議会を終えて

生 徒



- 役場の仕事に興味を持った。
- 議会やまちづくりへの関心が高まった。
- 議会の意見が反映されていて、声を届けることが大切だと思った。
- 議会によって和気町が良くなってほしいと思った。
- 議会でどのようなことが話し合われているのか、YouTubeなどで確認してみたい。

保護者



- とても貴重な経験ができた。今後に活かしてほしい。
- 自分の思いや考えを伝えることの大切さを学べたと思う。
- 和気町の問題点を真剣に考える機会になりとても良かった。
- 今回の経験が、将来政治や行政をより身近に感じることになると思う。
- 自分の住む場所を誇れるように考え、取り組む様子が素晴らしかった。

傍 聴



- 全員が和気町を想っていることをうれしく思った。
- 色々な視点から見た和気町の改善点を聞けてとても良かった。
- 「町がやってくれる」ではなく、自分たちができることは自分たちでやっていこうと思った。

前年模擬議会要望

令和8年 設置状況

令和７年の中高生模擬議会で**「命に関わる危険な暑さへの対応について」**の一般質問があり、令和８年度事業として熱中症対策に必要な備品が設置されました。

にこにこ園

屋外遮熱式テント





小学校

冷凍庫、貸し出し用日傘





中学校

製氷機など





9月議会の
動画一覧は
こちら

＼こんなことが決まりました／

9月 議会定例会

令和8年9月1日～15日

● 令和7年度　決算認定について

一般会計、特別会計、公営企業会計の決算を認定しました。

人事案件

● 人権擁護委員の推薦について

青盛眞人氏（再任）、髙原和正氏（新任）を推薦することに同意しました。

補正予算

● 令和8年度一般会計補正予算（第2号）について

鳥獣捕獲補助金の増額などの予算が可決されました。

● 令和8年度上水道事業会計補正予算（第2号）及び簡易水道事業会計補正予算（第2号）について

水道料金の基本料金（10月、11月分）を減免する予算が可決されました。

ご自宅で、外出先で、議会の様子がわかります！

和気町議会 YouTube チャンネル登録お願いします！

録画も！

ライブ中継も！

動画投稿サイト YouTube（ユーチューブ）

和気町 議会　検索

https://www.youtube.com/

24時間いつでも！

スマートフォン・タブレットの方
（アンドロイド・iPhone/iPad 共通）

右のQRコードを読み取ってください。
和気町議会のYouTubeチャンネルに移動します。



質疑と答弁

本会議において次のような質疑と答弁がありました。



令和7年度和気町一般会計歳入歳出決算認定

令和7年度の藤まつりが盛況だった理由は

山野 英里 議員

Q 令和7年度の来園者数が7万8541人であり、前年より約2万8000人増加し、収入も約1000万円増えているが、要因は。

A 岡 産業振興課長

鵜飼谷温泉の入浴券と、入場券とのセット券の販売などの結果、一定の効果が出た。また、渋滞を解消するため、駐車スペースを増やし、夜の藤をアピールして、集客を昼と夜とで分散した。



海洋センターの利用実績は

山田 浩子 議員

Q 海洋センターの利用が少ない。利用料金も安すぎるのではないか。今後の見直しは。

A 森元 社会教育課長

このインフレの中で、海洋センターだけでなく、社会教育、社会体育施設全体として、料金体系を考えていかないといけない。研究を進めているところである。



延滞金請求料金減少

山本 稔 議員

Q 延滞金請求に送料がかかっているので督促状を出さないような方法を考えてはどうか。

A 澤田 税務課長

他市町の状況も踏まえて検討したい。

公平な税負担を

従野 勝 議員

Q 税の負担は公平が原則だが、非課税の人と非課税でない人のほんの僅かの差で、不公平があるのではないか。

A 則枝 総務部長

納税に対する不公平感がないように、町として取り組んでいく。

意見

十分調査しながら、適切な対応をお願いしたい。



地域おこし協力隊の配置の考え方は

居樹 豊 議員

Q 地域おこし協力隊を、町観光協会へ配置はできないか。

A 清水 まち経営課長

関係人口の創出等を進めるために、観光協会とも協議し検討、研究していきたい。

質疑と答弁の動画はこちらから!

地域交通の担当が以前より少なくなっている

西中 純一 議員

Q 地域公共交通計画委託料について、危機管理室から総務課で業務を行うようになったが、職員が少なくなっているのではないか。また、AIを使って効率的な運用ができるように検討してみてはどうか。

A 則枝 総務部長

来年度へ向けては、適正な運行管理ができる者を一名配置するように調整をしていきたい。利用状況について、非常にうまくいっている路線、なかなか利用が見込めない路線もある。今年度改めて検討し、来年度に向けて路線の見直しを行いたい。



産業振興施設は

神﨑 良一 議員

Q 繰越明許費4750万円の内容は

A 岡 産業振興課長

産業振興施設整備事業の実施設計の費用で、令和7年度からの繰越事業である。委託先は黒川建築設計事務所で土木、建築の設計、ワークショップの対応の3本立てである。

すもも園の今後の方針は

山本 泰正 議員

Q 令和2年度から1千万を超える改良費を投資しているが、昨年度のすももの売り上げはわずか2500円となっている。今後の方針は。

A 岡 産業振興課長

若木ということで、生育が順調でなく、有害鳥獣の被害もあった。関係機関と協議し、解決に向けて努力したい。

意見

りんご園のように和気町と室原区の活性化へ向け検討されたい。

国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

不用額6852万円なぜ

西中 純一 議員

Q 療養諸費の不用額6852万円の理由は。

A 松田 民生福祉部長

医療費の負担分であり、後に請求があるので想定が難しい。余裕をもって予算を組むため不用額が出た。

特定健診の受診率向上を

居樹 豊 議員

Q 特定健診の受診者は737人、受診率40.4%である。病気を未然に防ぎ、医療費の抑制のためにも、受診率の向上に取り組む必要があるのでは。

A 松田 民生福祉部長

未受診者には、電話やハガキにより受診奨励に努め、健康についての認識の動機づけをおこなうことにより、受診率の向上を図っている。

和気鵜飼谷温泉事業特別会計歳入歳出決算認定

不用額は何か

西中 純一 議員

Q 不用額1651万円の理由は。

A 大竹 支配人

勤務体制の見直しを行い、報酬や手当の抑制を図ることができた。

また、電気料金について補助が継続されたことに加え、機器の省エネ化の影響があった。



令和7年度和気町簡易水道事業会計決算認定

過年度損益勘定留保資金は

神﨑 良一 議員

Q ①過年度損益勘定留保資金とは。
②その残高は。

A 柚本 上下水道課長

①過年度損益勘定留保資金とは、過去の年度に減価償却などの現金支出を伴わない費用を計上した結果、企業の会計の内部に溜まった資金のうち、前年度までに使用されずに繰り越された現金の蓄積額である。

②残高は約1億3900万円である。



和気町地方活力向上地域等特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例

どの地域を指すのか

山田 浩子 議員

Q 和気町地方活力向上地域とはどの地域を指すのか。また、計画の内容は。

A 澤田 税務課長

主に首都圏を除く地域を指し、和気町全体である。首都圏に一極集中している企業の本社や重要施設が、地方に移転することを推進するために作られた条例である。

令和8年度和気町一般会計補正予算

上水道、簡易水道負担金は

西中 純一 議員

Q 上水道事業会計負担金、簡易水道事業会計負担金は、水道料金基本料の何か月免除ということになるか。

A 海野 財政課長

10・11月分の水道料金に対する補助である。

質疑と答弁の動画はこちらから!

保育所運営費は

神﨑 良一 議員

Q 保育所運営費の委託料156万円の内容は。

A 新田 教育次長

保育所運営委託料は、和気町民が他の自治体の保育園を利用する場合、利用料を負担する制度である。現在、0歳児が定員に達しているため入園できないので、和気町から岡山市に対して利用料を負担する。



令和8年度和気町後期高齢者医療特別会計補正予算

なぜ保険料率の決定がここまで延びたのか

西中 純一 議員

Q 今年2月の時点で、令和8・9年度の後期高齢者保険料率が決まっていなければならない。なぜここまで延びたのか。

A 松田 民生福祉部長

後期高齢者医療の保険料は、2年に1回改定されることになっており、今回の改定では、均等割・所得割が上がり保険料が大きく増える見込みとなった。

後期高齢者医療広域連合が保有する余剰金12億円について、「今回活用するか」「将来の保険料改定に備えて残しておくか」が検討された結果、今回の改定で活用するという判断になった。

この判断を踏まえ、令和8年3月末に令和8・9年度の保険料率が確定し、保険料率が上がったことに伴い、町の後期高齢者医療特別会計の保険料収入を増額するものである。

物品購入契約の締結

指名競争入札で辞退が多い理由は

山本 泰正 議員

Q 指名競争入札にも関わらず、指名業者10社中2社のみの応札理由は。

A 則枝 総務部長

議会に付すべき入札案件で入札辞退が多いが、今回の入札は、学校施設での端末機の購入のため、納期的なことや端末ソフトの関係等合致できなかった企業側の都合もあったと認識している。

意見

辞退した業者に対しては、次回からの指名を十分精査されたい。



質疑と答弁の動画はこちらから!

委員会報告

和気町議会には、2つの常任委員会と1つの特別委員会があり、付託された議案について、特に詳しく審議します。

委員長報告の動画はこちらから!

総務文教常任委員会

ここに注目!

庁舎外構工事の追加予算を可決

Q 本庁舎周辺の外構工事の内容は？

A 外構工事を実施したところ、新たに空洞が見つかり追加工事を実施する。

ここに注目!

令和7年度決算を認定

Q にこにこ園や小中学校に配置しているALTの決定方法は？

A プロポーザルで決定している。

Q コミュニティ助成事業の内容は？

A 宝くじ助成事業を活用し佐伯区がコミュニティ備品を購入した。

厚生産業常任委員会

ここに注目!

令和7年度決算を認定

Q 生産物売り払い収入でそれぞれの販売状況は？

A リンゴ、ぶどうは増収。すもも、ブルーベリーは売り上げ少。来年度も増収に向け、売り上げを確保していきたい。

ここに注目!

猟期期間中の有害鳥獣捕獲補助金が増額

Q 多くの有害鳥獣を捕獲しているが、小動物の捕獲単価を増額してもらえないか。

A 今年度から少額ではあるが増額される。

有害鳥獣捕獲補助金

補助金単価		
区 分	非猟期	猟 期
イノシシ(成獣)	17,000円	6,000円 (15,000円)
イノシシ(幼獣)	11,000円	6,000円 (9,000円)
シカ(成獣)	16,000円	5,000円 (12,000円)
シカ(幼獣)	10,000円	5,000円 (6,000円)
カラス・カワウ	2,200円	2,000円 (2,200円)
ヌートリア・アナグマ・ハクビシン	3,000円	2,000円 (3,000円)
サル	10,000円	
キツネ	2,000円	
タヌキ	500円	

(　)は、令和8年度からの予定単価

和気鵜飼谷温泉事業特別委員会

ここに注目!

温泉利用者が大幅に増加

温泉利用者は30周年イベントが好評だったため、令和6年度と比較して1万7,700人増の14万8,633人の利用があった。

温泉の収益アップにあわせ、和気町に入る入湯税も増えている。



ズバリ！ここが気になる！

一般質問

〈一般質問とは〉

議員が和気町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を
執行機関（町）に求め、適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。
一問一答方式で行われ、質問・答弁を合わせて40分間です。
議会だよりでは、議員本人が執筆（要約）したものを掲載しています。
９月議会定例会では７人の議員が質問しました。





PAGE 13 山野 英里（やまの えり）議員

- 町の未来のために今できることは
- 学習指導要領の改訂における教育の未来は

PAGE 14 杉本 晴彦（すぎもと はるひこ）議員

- 和気橋架け替え期成会の活動は
- 事故多発地区の速度制限は
- まちづくり協議会の方針は
- 和気町のハラスメント対策は

PAGE 15 山本 稔（やまもと みのる）議員

- オーガニックビレッジの今後は
- 谷尾食糧横の町道改良は

PAGE 16 山田 浩子（やまだ ひろこ）議員

- 認知症対策の取り組み強化を
- 子どもの主権者教育の取り組みは
- 交通弱者に対する取り組みは
- 移住・定住推進事業の現状と課題は

PAGE 17 神﨑 良一（かんざき りょういち）議員

- 産業振興施設の今後は
- 好適環境水の事業は
- 美作市との観光事業は
- 和気町を文化の町に
- 中央公民館、図書館等の整備は
- 町営の駐車場は

PAGE 18 西中 純一（にしなか じゅんいち）議員

- 保育教諭職員採用の改善を
- 地震に対する対応を

PAGE 19 居樹 豊（すえき ゆたか）議員

- がん検診の受診料無料化を
- 全国学力・学習状況調査の検証を
- 吉井川左岸（桜並木）の環境整備を



山野 英里（やまの えり） 議員

Q 町の未来のために今できることは

A 時代の転換期であり、改革を進めたい

Q 和気町総合計画後期基本計画では2050年には、町内の人口は約8300人と明記されている。町の未来のために注力していることは何か。

A 太田 町長

現在、注力している課題は、

①和気駅周辺整備

②自然を活かした観光と関係人口の創出

③移住・定住を促す人口減少対策

④子育て・教育環境の充実

行政サービスをそのまま維持するのではなく、時代のニーズに合わせて、アップデートをするなど、転換期を迎えている。

2町の合併により、人口規模に対する公共施設数が、全国平均の約2倍であり、利用していない公共施設も多くある。統廃合とコンパクト化が必要である。今後、思いきった改革を進めたい。



公共施設情報を可視化するために必要だ

Q 公共施設とは、町民の生活を支える拠点だ。老朽化してきている施設もあるが、今後はどうなるのか。

美咲町では、施設の情報カルテを作成して考え、施設の処分と新設で、約30%の床面積の削減に成功している。公共施設の情報カルテの情報を要約して町民や議会に提示は。

A 海野 財政課長

将来世代へ過度な財政負担を残さないための喫緊の課題だ。和気町公共施設個別施設計画を策定し、今後の維持管理の方針などを明記している。情報量が多いので、要約したものを公開することも検討する。

Q 美咲町では地域主体で課題を把握し、未来計画を作り実践している。

小規模多機能自治※の充実を図ることはできないか。

A 清水 まち経営課長

各地域に助け合いのまちづくり協議会がある。人口減少に対応するため行政の支援やコーディネート機能を充実することが必要だ。

Q NPO法人などとの連携は。

A 太田 町長

NPO法人との連携も検討する。

※小規模多機能自治：地域住民が主体となり、まちづくりや地域の課題解決を行う仕組み



子どもたちも一緒に、地域のことを考える小規模多機能自治

動画はこちら

学習指導要領の改訂における教育の未来は

Q 約10年に一度と言われる学習指導要領が改訂されるが、内容は。

コミュニティ・スクールとして地域ができることは何か。

A 嶋村 学校教育課長

2030年度頃の実施を目途に、次期学習指導要領の方向性が固まりつつある。

改訂内容は、情報活用能力の育成や授業時間数の柔軟化、多様な学びへの対応などがある。

本町では、昨年度までに町内全小・中学校がコミュニティ・スクールとなった。

「地域総がかりで子どもを育てる」という基本的な考えを基に、目指す子ども像を共有し、学びや成長を支えてほしい。



杉本晴彦（すぎもとはるひこ）議員

Q 和気橋架け替え期成会の活動は

A 着実に要望活動をしている

Q 期成会発足から現在までの状況は。

A 太田 町長

昨年5月20日に期成会設立総会を開催した。構成は和気・石生地区区長とそれぞれの住民代表が役員になり、私と内山・正木県議が顧問となり発足。その後直ちに会長、事務局が東備地域事務所にあいさつし要望書を提出。同年6月議会で山田議員から議長に請願を行い全会一致で採択。本年6月10日第2回総会に合わせて、県の担当より、予防・保全等の説明を兼ねた勉強会を開催。その後7月10日には東備地域事務所地域建設部長を訪問。8月6日には備前県民局建設部長を訪ね要望書を提出。部長からは、期成会及び町長、県議が継続して要望されることは効果が大きいと言われた。引き続き、期成会、町、議会が一体となって粘り強く要望していく。



和気橋西詰からの写真

事故多発地区の速度制限は

Q 県道、原・本区の速度制限を時速40㎞にするよう要望できないか。

A 則枝 総務部長

これまでの警察署の回答としては40㎞の速度制限の必要性が認められない路線であり、その理由として、要望のエリアは非市街地であること、2車線道路であり、歩行者交通量が僅少であること、道路北側に歩道の設置があることなどをあげられている。

町としては、警察からの回答を尊重しつつ、地域の皆さんが安全、安心して暮らせる環境づくりに引き続き取り組んでいく。



県道96号線原区地内

まちづくり協議会の方針は

Q まちづくり協議会の現状と今後の方針をどう考えるか。

A 清水 まち経営課長

制度の開始から約20年経過する中、事業のマンネリ化、住民参加の減少、地区役員や行政職員の負担増加など様々な課題を認識している。

今後はそれぞれの地域が抱える課題を整理し、事業の統合や見直しなど地域の実情に応じた様々な方策を検討していく。



まちづくり とんど焼き

和気町のハラスメント対策は

Q 本年10月1日から自治体でもカスタマーハラスメント対策が義務化されるが何か対応を考えているか。

A 則枝 総務部長

①庁舎の入り口や窓口に対策の方針を掲示する。

②判断基準やエスカレートを防ぐための初期対応、さらには職員のメンタルケアに関する理解を深めるため等の研修を行う。

③マニュアルを作成しカスハラ行為に対する共通認識の周知をはじめ組織全体での役割分担、事象発生後の措置対応等、明確にしていく予定である。

動画はこちら



山本（やまもと） 稔（みのる） 議員

Q オーガニックビレッジの今後は

A 地域おこし協力隊を配置し進めていく

Q 令和4年12月議会において、「みどりの食糧システム戦略」の中でオーガニックビレッジに取り組んでいくよう進言し、令和5年度から取り組んでいる。
①これまでの経過はどうなっているのか。
②今後目標に向かってどう取り組んでいくのか。
③和気町ブランド米は作ることができるのか。

A 今田 副町長

①オーガニックビレッジ事業は、令和5年度から有機農業産地づくり推進協議会を主体として有機稲作や有機野菜栽培教室、圃場での試験栽培など行って農業者の支援をしている。学校給食への特別栽培米や有機農産物の活用を進め、地産地消や食育、販路の確保にも取り組んできている。

②今年度からさらなる町民の認知度向上、普及PRのため、地域おこし協力隊を1名配置し、有機農業に意欲ある農業者を中心に、特定地域での農地の団地化を進め効率的に営農できる環境を整える。生産から販売までを一体的に支える仕組みづくりに取り組み、和気町エコ農産物認証制度の普及を進め、販路の拡大につなげるとともに、有機JAS認証取得に係る費用を支援し、有機農業への新規参入や転換を後押ししていく。

③和気町ブランド米の確立は、販路の拡大や生産者の所得、意欲の向上につながる重要な取り組みである。付加価値の向上を図り学校給食に加え町内外の飲食店や小売店、直売所、ふるさと納税返礼品など、販路を広げ町を代表する農産物としてブランド化を進めていく。



無農薬のため手間のかかる雑草取り

動画はこちら

谷尾食糧横の町道改良は

Q 令和2年12月に請願が提出され採択されているがその後の経過と今後の予定は。

A 西本 産業建設部長

この事業は規模が相当大きく、計画から完了まで多額の事業費と年数が必要であり、段階的に進めていくことが大事である。まず吉井川上流出張所跡地購入を進めるため、国土交通省と協議を進め令和7年度に財務省と協議を行い、町の公共事業として進めていくことが決まっている。令和6年2月から継続して備前警察署、交通規制課との協議を進め具体的な交差点の設計が完成しており、民間用地の協議を行い事業計画の目標が見えてきた段階である。令和9年以降関係機関と協議を重ね、令和10年からの工事着手を目指しており、時間はかかるが着実に整備を進めていく。



改良が待たれる谷尾食糧横の町道



山田浩子（やまだひろこ）議員

Q 認知症対策の取り組み強化を

A 保険の導入は考えていない

Q 認知症高齢者が日常生活における偶然の事故により、第三者に損害を与えてしまった場合、本人や家族が大きな経済負担を負う可能性がある。認知症高齢者個人賠償責任保険の導入は。

A 寺尾 介護福祉課長

現時点において導入は考えていない。認知症対策を取り巻く動向、他自治体の導入状況など、引き続き調査研究を行う。事故を未然に防ぐ見守り体制の強化などにも注力していく。

子どもの主権者教育の取り組みは

Q 小学生の授業で、議場体験や議会体験などを取り入れることはできないか。

A 則枝 総務部長

子どもたちが将来、主体的に社会参画する大人へと成長する上で、意義深い取り組みの一つと考える。小学6年生の社会科授業において、学校からの要請があれば積極的に対応していく。

交通弱者に対する取り組みは

Q 公共バスの現状と課題は。8月5日に行った運賃無料の取り組み結果は。

A 則枝 総務部長

令和7年度の利用者は、若干増加していたが、利用者が固定しており、バス乗車に対する抵抗感があるのではないかと認識している。まず一度乗ってもらうことが重要だと考え、運賃無料デーを実施した。延べ159名の利用があり、利用促進の効果があったのではないかと思われる。

Q 和気町地域公共交通計画が策定されているが、この計画に基づく事業展開及び検証ができているのか。

A 則枝 総務部長

「みんなで支え合う人にやさしい公共交通」が基本理念である。公共交通を維持していくためには、日頃から利用してもらうことが第一歩である。計画目標にある実施事業について随時行い、将来、車に乗れなくなった時、バスに乗りたいと思ってもらえるような取り組みをしていく。

移住・定住推進事業の現状と課題は

Q 岡山県においても減少傾向であるが現状は。和気町ファンクラブなどの関係人口創出と、移住・定住の連携は。

A 清水 まち経営課長

直近10年間の実績では、年平均100名程度の移住がある。関係人口創出事業を通じて、移住者への段階的な展開を促進することが、人口減少対策に寄与するものと認識している。

Q 和気町発展のための重要プロジェクトを多く抱えているが、人員配置は適切か。

A 則枝 総務部長

適切であると考えているが、限られた人員の中で、最大の成果を上げられるよう、より効果的な人員配置の実現に向けて取り組んでいく。

動画はこちら



神崎 良一（かんざき りょういち） 議員

Q 産業振興施設の今後は

Q 産業振興施設は。
(1) 検討委員は誰か。
(2) ワークショップの結果は。
(3) 次の10項目の検討を。
①町の観光マップ。②町の名産品の販売。③町の有名な企業の商品展示や宣伝。④図書コーナー。⑤主要な外国語での表記、アナウンス。⑥野外ステージ。⑦シャワールーム。⑧コインロッカー。⑨自転車の貸与。⑩展示場。

A 岡 産業振興課長
(1) 様々な世代や立場の方の参加という観点からワークショップを開催した。
(2) 自然や景観とのつながりをはじめ、地元住民の交流の場、子どもが遊べる場所、サイクリストの休憩所、オーガニック農産物の販売所、イベント、マルシェの開催、キッチンカー、ドッグランなどのアイデアを反映した計画プランを示していく。
(3) 検討していく。


産業振興施設建設予定地

好適環境水の事業は

Q (1) 第2回の検討委員会内容は。
(2) 今後の計画は。
(3) 他の地域、他の先行事例等の検討は。
(4) 第3回目の検討委員会の内容は。

A 則枝 総務部長
(1) 包括連携協定先である岡山理科大学との今後の事業推進や、産官学による事業研究の進め方について、現状課題を含めて協議した。
(2) 新産業の創出による雇用機会の創出や遊休施設の再活用などを視野に、産官学共同により事業研究を進めていく。
(3) 今後の事業推進の参考となる自治体も把握している。事業の展開によっては事例を紹介していく。
(4) 議会終了後、岡山理科大学を訪問し、今後の進め方を相談する。産のコアとなる提案者とも随時連絡を取りながら協議を進める。


事業展開が計画されている

美作市との観光事業は

Q 具体的に今年度は。

A 岡 産業振興課長
サイクリングなどのアウトドアイベントと湯郷温泉、大芦高原温泉雲海、和気鵜飼谷温泉などの宿泊施設との連携を進める。

和気町を文化の町に

Q 清麻呂公生誕1300年記念事業として四コマ漫画を作成し、図書館等に配布しては。

A 則枝 総務部長
町内で歴史文学を研究している方から、町長、教育長も説明を受けている。今後内容を精査し、まとめていく。



中央公民館、図書館等の整備は

Q 文化ゾーンの今後のスケジュールは。

A 太田 町長
複合施設について、県内外の他市町村の事例を収集しながら研究を進めている。

町営の駐車場は

Q (1) 現状の駐車場は。
(2) 収支は。
(3) 増収策は。

A 西本 産業建設部長
(1) 現在6か所の駐車場で合計376枠ある。①和気駅前駐車場②和気駅南駐車場③曽根駐車場④農協前駐車場⑤緑が丘駐車場⑥駅前商店街駐車場。
(2) 令和7年度決算では歳入が歳出を上回っている状態である。
(3) 和気駅前、駅南駐車場のより利用しやすい環境整備を図り、駐車場の利便性向上に努める。

動画はこちら



西中 純一 議員

Q 保育教諭職員採用の改善を

A 検討すべき課題と認識している

動画はこちら

Q 保育教諭の職員採用で7月12日に試験があって、9月20日に2次募集を実施しているが、どういうことだったか。

A 則枝 総務部長

来年度採用の保育教諭の1次募集において応募少数だったため、直ちに2次募集を行い準備も進めている。



がんばっている保育教諭

Q 募集要項によると給与は一般行政職と同じになっている。これが問題ではないか。教育職としての給与表を適用すべきではないか。

A 則枝 総務部長

にこにこ園に勤務する職員は保育士としての辞令が基本であることから一般行政職の給料表を適用した給与支給を行っている。近隣の自治体でも本町と同様に一般行政職給料表を適用している。なお、備前市については採用形態が異なっているので教育職給料表を適用している。

保育及び教育を担う保育教諭は、専門性の高い職種であることも認識している。処遇の在り方については、他の自治体の動向も考慮しながら採用募集について検討すべき課題であると十分認識している。

地震に対する対応を

Q 水道本管の耐震化率が何%になっているのか。

A 柚本 上下水道課長

現時点で上水道だけで耐震化適合率は28.5%であり、簡易水道を含めると26.5%になる。十分な耐震化ができているとは言い難い。

Q 地震に対して耐震化の改修工事をやっていく必要があると思うがその予定はどうなっているか。

A 柚本 上下水道課長

基本計画である水道ビジョンに沿って更新事業を行っており、新石生配水池が完成し、新曽根配水池も来年度本格的な更新工事を実施する。昨年度は和気駅地下道内の水道管敷設工事を実施し、和気駅南北を連絡する管路を耐震管で整備した。今年度接続が完了する。

今年度は福富地内水道管更新工事の実施設計を発注しており、国道374号線に布設している管の耐震化を進めていく。今後も適宜更新を行いながら段階的に耐震化を進めていく。



耐震化している本管工事



居樹 豊（すえき ゆたか）議員

Q がん検診の受診料無料化を

A 受診しやすい環境整備に努める

Q 本町には18歳までの医療費の無償を県下27市町村に先駆け実施するなど健康福祉の充実に努めている。しかし、他の自治体においても先進的な本町の施策を取り入れ実施している。今後の施策の考えを伺いたい。

① 特定健診、がん検診の受診状況、課題は。

② 各種けんしん（健診、検診）の受診料の無償化の検討を。

③ 成人歯科健診の対象を5年に1回に見直し検討を。

A 松田 民生福祉部長

①特定健診の受診率は40％で令和7年度の目標値42％を下回っており、未受診者に対し個別に受診勧奨のハガキの送付や電話連絡などで、取り組みを進めている。

②受診率向上の観点から一つの意見としては受け止めているが、他の自治体の先行事例によると未受診の要因としては、受診の必要性についての認識不足や受診日時の確保などが指摘されている。

③歯科健診については、来年度から国において20歳から5歳刻みに拡大する動向を踏まえ、歯周病などの早期発見、早期治療につながることを期待している。

A 太田 町長

今後とも受診率の向上に向け啓発活動に努めていきたい。



がん検診の受付状況

全国学力・学習状況調査の検証を

Q 令和8年度の調査結果は県平均を下回っており教育のまち和気町としてどのように認識しているのか。また、本町は英語特区により園小中にALTを配置しているが成果はどう認識しているか。

A 嶋村 学校教育課長

各校において調査結果を踏まえて検証を行い、児童、生徒の学力向上に取り組んでいる。町教育委員会も実態に応じた方策に継続して取り組んでいる。英語教育の充実により学校の授業以外で日常的に英語を使う機会が調査結果でも国、県を上回っており成果として考えられる。

A 徳永 教育長

調査結果については、大変重く受け止めており今後とも授業改善に取り組んでいきたい。

吉井川左岸（桜並木）の環境整備を

Q 天神山トンネルを出たところからの吉井川の眺望は、町内でも一番良いのではと思っており、産業振興施設との相乗効果のため整備の検討をしてはどうか。

A 河野 総務事業部長

現在、吉井川左岸の陸閘（りっこう）（可動式ゲート）から下流約200mの区間は未整備で、今後、賑わいの創出につなげていきたいと考えている。

意見　町として地元と連携して検討していただきたい。



眺望の美しい桜並木

動画はこちら

Information

新議員紹介



飯豊（いいとよ）　信（まこと）

趣　味

人と人を繋ぐ。家族と過ごすこと。

ひとこと

役場で人口減対策・移住推進を担当した10年間の経験を活かし、町全体の魅力化に力を尽くしたい。

アンケートへのご協力をお願いします！



町民の皆様に読んでいただける議会だよりを目指し、努力してまいります。皆様のご意見をお聞かせください。

右記のQRコードを読み込み、アンケートにご協力をお願いします。

今月の表紙



一部加工・トリミングして掲載しています。

わぁ〜 おいしそう

撮影場所：藤野会館
撮　影　者：議会広報編集委員会
コ メ ン ト：藤子食堂が月1回開催している子ども食堂です。
子どもたちの健やかな育ちを支え、地域との交流を大切に活動されています。
9月は約60人が参加して遊びや食事を楽しみました。

表紙写真を募集しています！

編集後記

地震、台風、大雨など、各地で大規模な災害が発生しています。被害にあわれた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。和気町においても、日頃からの備え、防災意識の高まりが望まれます。

今年も中高生模擬議会が開催されました。中高生議員による一般質問が行われ、和気町の課題や、新たな提案について議論されました。

どれも、「和気町を良くしたい」との思いがあふれていて感心し、勉強になりました。今後も住み続けられるまちを目指して、様々な課題解決に取り組んでまいります。

（山田　浩子）

和気町議会だより　第82号　令和8年10月23日発行
和気町議会広報編集委員会　岡山県和気郡和気町尺所555番地　TEL0869-93-1121（代）
和気町議会ホームページ　https://www.town.wake.lg.jp/gyoseijoho/wakichogikai/

和気町議会
ホームページはこちら！
和気町議会　検索